

「鬼熊」三題新

「鬼熊」は犬津彦？

神社仏閣の屋根の端部を飾る瓦に「鬼瓦」がある。地車にも大屋根前後、小屋根後ろ正面に同様の飾り彫刻があり、瓦でないので「鬼板」と呼ばれる。祭の本である祇園祭の鉾、山、また西日本各地に広がる「だんじり」の鬼板は雲型模様に一本あるいは二本の鳥衾が付いたものがほとんどであり、摂河泉の地車、またその影響を受けたと思われる「だんじり」のみが獅噛の鬼板を持つ。

今日、我々は通常「獅噛」と称しているが、泉大津では「鬼熊」と呼んでいる。今までは泉大津のみにおける特殊な語彙かと思っていたが、岸和田に角を持つ「龍」をイメージする鬼板があった事実が気に掛かり、今や下地車化している堺市、泉北地方でかつて獅噛はどこのように呼ばれていたのか調査したところ、堺市の津久野地区、深井地区でも「鬼熊」と呼んでいたことが判明した。「灯台下暗し」であった。泉北地方一体で、「鬼熊」と呼ばれていた可能性は高い。

獅噛でない鬼板を持つ上地車

今日、摂河泉には六三〇台の上地車、二八〇台の下地車と九〇〇台を超える地車がある。上地車の大半は鬼板に獅噛を持ち、上地車と下地車を見分ける大きな特徴となっているが、すべての上地車が獅噛を持つわけではない。

天満宮に奉納されるいわゆる「三つ屋根地車」の鬼板は三本鳥衾である（写真1）。令和四年に新調されたこの地車は三代目であり、寛政七年新調の初代、嘉永五年新調の二代目と同じ鬼板様式である。また、保存されている先代、枚方市茄子作、同高田（こうだ）、吹田市浜の堂、守口市下嶋、八尾市神立、交野市星田西、尼崎市清水町の九台に限られているようである。



吹田市浜の堂、守口市下嶋、八尾市神立はいずれも大阪型であり、吹田市浜の堂は天満宮周辺で曳かれていたとの伝承が残る。満宮の地車の流れを汲むものと思われる。ただ、八尾市神立地車は明治二十一年三十



また、獅噛と同様に、龍（写真3）、虎、唐獅子、玄武あるいは武者や神様（写真4）を彫り抜いた板を鬼板として用いられたものを「飾目（しきめ）」と呼んでいる。飾目を持つ地車は、現在稼働している六百台余りの上地車のうち、およそ七台に一台である。

獅噛を持った岸和田型地車

通常、岸和田型地車は三本鳥衾を持つ鬼板が付いている。しかし、元々上地車を曳いていた堺市西区上、北王子、家原寺町、八田寺町、東區上町、下田、大東、中区北垣外、南区大庭寺、高石市五区、泉大津市千原、和泉市下柏太、大阪狭山市今熊など堺市、泉北地方の今日の下地車の鬼板にも獅噛が刻まれている。旧来、上地車を曳いて下地車に転換した地区が先代あるいは先々代地車の名残を残しておくのは何となく理解できる。

しかし岸和田市（旧市）の紙屋町地車、筋海町地車には鬼板に獅噛が刻まれている（写真5）。これらの町が何故、こうした獅噛を持つているのであろうか？ もっと驚くことは、獅噛そのものを持つ



写真2



写真5

つ初期の岸和田型地車である餌差町地車（今日部の筋海町に一部）の図面が残る（写真6）。製作時期は特定されていないが、土呂根の形式から、現在、岸和田だんじり会館に保存されている文化文政期製作の旧五軒屋町地車と同時期と考えられる。この図面は、大屋根前後の鬼板は今日の岸和田型地車同様三本鳥衾であるが、小屋根は獅噛であり、しかも角を持つ。



写真6

獅噛は獅子？鬼？

濱八町では田中町地車の鬼熊には角が付いている。濱八町では「鬼熊」と呼ばれるなら、角を付けようとのことで付けたと聞いている。

しかし、一般的には獅噛と呼ばれるように獅子（狛犬）が噛み締めた状態を表したのと考えられているが、多くの地車を見ていくと、鬼の形相をしたものな



写真7

り、鬼を象徴する角を持つものがある。完全に「鬼」の表情をしているものとして吹田市都呂須（天保六年）、交野市私部東（江戸末期、写真7）、交野市私部（天保二年）などの地車が挙げられ、また角を持つ獅噛として、泉大津市田中町地車のように近年製作されたものは別にして、交野市私部西（天保年間、吹田市金田町（嘉永七年）、羽曳野市古市東町（小屋根の慶応元年）などの地車がある。しかも、これは江戸末期に作られた古い地車なのである。

岸和田型地車の開発は、天明五年に泉大津から地車を譲り受けたのがきっかけであったことは有名であるが、先述の餌差町地車の獅噛の図面からは、泉大津から岸和田に行った地車にも獅噛があったと考えられ、十八世紀末までには開発されていたと思われる。

「邪気を払う民間信仰から、鬼面を施した仕様は、神道においては「鬼」はふさわしくなく、神を守護する高麗犬から唐獅子の獣面仕様に变化しているたのは」と主張される方もおられるが、開発当初においては、飾目も含めて、もともと自由にあるものを彫り込んだ鬼板があったと思われる。加えて、詳細な内容は省略するが、摂河泉で最も古い天満宮を中心とした大阪市内の地車の鬼板には江戸末期までには獅噛が付いておらず、住吉、堺などの周辺部で獅噛、また飾目といった彫刻の鬼板が最初に発展し、その後、標準化していったのではと私は考えている。

若林 公平



摂河泉のだんじり ーその現在、変遷、起源ー

著者 中津祇園ほか
若林公平
発行 令和7年5月
定価 3000円（税込）

著者 花内友樹
発行 令和7年1月
定価 10000円（税込）



淡路生穂 ーその後に魅せられてー

書籍は、谷大雅堂にて販売中

外壁 屋根 雨漏り 相談所
住宅・マンション・工場・倉庫
金丸塗装
TEL:0725-21-5787

各種イベント・会議
式典etc. 企画運営
AWESOME
株式会社 AWESOME
代表取締役 吉岡 藍
〒泉大津市二田町2丁目12-32 2F
TEL:0725-90-6512 FAX:0725-90-6513

くるみ餅
いもいもや
泉大津市本町 6-1 TEL 0725-32-0886

株式会社 **山崎商店**
事務用品 教科書 OA機器
書籍 オフィス家具 印章
〒595-0063 泉大津市本町1番1号
TEL 0725-21-0005

はっぴ・たすき
縫ロシャツ
チャンチャンコ
オリジナルを作るなら
(株)紺善
〒596-0053 大阪府岸和田市沼町 16-11
tel: 072-422-3275 fax: 072-439-3234
http://konzen.jp

Groovy
株式会社グルーヴィー
http://www.groovy-osk.co.jp/
本社 〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町 2-5-4
KTビル2F TEL 06-4708-5777

家族葬 一般葬 社葬 ご法要
お葬儀の規模・価格
すべてに応じて お見積りいたします

戎（本町）
北助松駅前
家族葬ホール
OPEN!
泉大津市立総合体育館前
シティホール 泉大津
0120-43-4304

一般貨物自動車運送業
光急便株式会社
チルド・冷凍食品・一般食品・雑貨・その他
大阪府泉大津市河原町 264 番 26
Tel(0725)32-8695 Fax(0725)32-2296

社会福祉法人 **泉大津みなと会**
みなと本部 就労移行支援・就労継続支援B型・相談支援
〒595-0054 大阪府泉大津市分見町 85-1
TEL:0725-20-3710/FAX:0725-23-2349
カモメ 生活介護
〒595-0044 大阪府泉大津市河原町 2-13
TEL:0725-32-3710/FAX:0725-32-2349
グループホーム
〒596-0052 大阪府岸和田市並松町 24-14
グループホーム・短期入所
〒596-0035 大阪府泉大津市式内町 9-6

Canadian English Classroom
ラーニング
有限会社 LearnEng
〒5950052 泉大津市西港町 8-10
TEL 090-4649-9476

楠本モーターズ
株式会社
〒595-0072 泉大津市松之浜町2-11-6
TEL (0725)22-1113
FAX (0725)22-1116

売買 賃貸
注文建築
株式会社 南大阪住販
地元泉大津で
皆さまの
ご支援賜り
創業40年以上!!
〒595-0013 泉大津市宮町10番12号(条南小学校北西角)
TEL:0725-22-0077 Webで物件掲載中!! 南大阪住販 検索

総合葬儀会館
泉大津 メモリアルホール
24時間 受付
泉大津市池浦町1丁目17番5号
0725-23-4455
セルビスグループ
https://www.shaken28.com

テント・シート・帆布製品全般
泉州シート株式会社
〒595-0011 泉大津市曾根町1-10-50
TEL 0725-21-2502
FAX 0725-21-9886

だんじり衣裳専門店
サヤ柄チャンチャンコ (ひも・派手)
長袖 (ひも・ボタン) タイプもあります。
肌触りバツグンの急汗速乾生地も数多く
豊富に揃えております。

近畿運輸局長認定工場
ABATURI 二葉モーターズ
泉大津市本町 5-23
0725-32-1741
車検 泉大津 検索
https://www.shaken28.com

上田美容研究所
Liefhair × Liefflash
〒595-0061 泉大津市春日町 8-3
Holiday: Mon&2nd 3rd Tue
0725-32-1170

倉敷屋・丸五
力王・日進足袋
立体インソール採用で、
横ブレ防止！
フラスター仕様なので、
フィット感UP!!
岸和田市加守町 3-5-21
http://www.negoro-web.com
0120-80-2675